

研究課題SGの紹介とSGへの参加のお願い

利用幹事

塩谷 亘弘、下村 理
松井 純爾、村田 隆紀

5月27日に行われました設立総会において、SPring-8利用者懇談会が正式に発足し、同時に、懇談会に申請があった33の研究課題サブグループ(SG)が認められました。これらのSGがカバーしようとしている研究内容を各SG代表にまとめてもらったものを以下に掲載いたします。

別項で紹介があるように8月13日には第1回ビームライン検討委員会が開かれました。ここで、平成10年までに建設される共同利用のための10本のビームラインを決める手順などが議論され、各SGからのビームライン建設申請を待つばかりになってきました。ビームライン計画書(Letter Of Intent)の提出締切は11月末日です(P.35参照)。この段階では各SGにはSPring-8の有効利用にたいする説得力ある提案が求められおり、SG内部での積極的な議論が必要になっています。このような状況をご勘案の上、各SGの研究内容をお読みになって関心のあるSGに参加していただくようお願いいたします。

参加希望の方は後掲の用紙(P.34)に記入の上、事務局までお送りください。正式登録は今回が初めてですので、すでにSGメンバーである方も登録してください。複数のSGに参加することも可能です。SGの内容についてより詳しいことを知りたい方は直接SG代表に連絡してください。なお、すでに立ち上がっている33SG以外の新しい研究課題SGの発足も歓迎しますので、利用幹事までご連絡ください。

利用研究課題SGの紹介は、(1)サブグループ番号、サブグループ名、(2)研究内容の概要、(3)サブグループ代表者、の順に掲載します。

スペクトル計算プログラムの配布について

SPring-8共同チームビームライン開発グループ

北村 英男

放射光ユーザー、放射光装置技術に関わる研究者が必要とする各種放射光のスペクトルを計算するプログラム(SRCP.V2.1)が用意されています。収録されている計算ソフトは、偏向部と各種挿入光源放射の輝度、光束密度、光束、偏光度、空間分布、放射光パワー空間分布等です。動作環境は、MS-DOS3.3以上のPC98系(エプソンを含む)で、CPUとして486DX、486SX+487、386DX+387DX、あるいは386SX+387SXを搭載している必要があります。マニュアルは現在作成中で年末には完成する予定ですが、マニュアルなしでもある程度は使用できるように工夫されています。このプログラム(3.5インチ2HDを2枚)を入手希望するサブグループは、SPring-8利用者懇談会事務局まで申込くださるようお願いいたします。